

川本町水道料金システム構築仕様・機能確認書

<b>1 検針・調定管理業務</b>	
ハンディターミナルの仕様	
1	防水機能を有し、強固であること。
2	データの送受信は高速であること。
3	検針員単位で検針データの送信が行えること。
4	ハンディターミナル上で料金計算ができること。
5	不慮の事故が起こった際に備え、データのバックアップができること。
6	総検針数、検針済件数及び未検針数が確認できること。
7	各種メータ情報・前年同月水量・前回検針水量・メッセージ等の情報が表示できること。
8	検針票の再発行ができること。
9	検針数値の修正ができること。
10	検針途中でも取込みができること。
11	異常水量の場合には、警告音またはメッセージが表示されること。
12	使用者・メータ番号・未検針者・検針順等での検索ができること。
検針データ	
13	検針結果の一覧表が作成できること。また、過去一年分の検針結果を履歴として残し、再度作成できること。
検針値異常チェック	
14	異常水量の一覧が作成できること。また、異常水量の条件の設定はマスタ設定で変更できること。
各種帳票	
15	地区単位、または検針員単位での検針対象者一覧を検針順で作表できること。
16	日付を指定して、調定更正したデータの一覧が作成できること。
17	検針結果一覧表に前回及び前年同月の検針値が印字されていること。
18	検針数値の妥当性を基準をもって判断すること。基準を超えた場合の確認等ができること。
<b>2 請求・収納・過誤納管理業務</b>	
納入通知書	
19	納付書の一括発行、単票発行がともにできること。
20	分納納付書の発行ができること。
21	バーコードを印字して消込処理を行えること。
22	口座引落不納者の納付書の再発行が一括発行できること。
23	一人の使用者の納付書を複数月分の発行ができること。
24	納付書は複数の様式で対応可能であること。(当町指定のA4サイズおよび角公納付書に対応すること)
口座振替	
25	口座引落用のデータ(正・副)ができること。
26	口座引落の依頼内容・引落結果の明細が作表できること。
27	再引落しに対応していること。
28	金融機関ごとに取りまとめ作成ができること。
29	口座引落データ消込時に「正常」「重複入金」等の結果チェック一覧が作成できること。
納付書消込	
30	納付書のバーコード消込に対応していること。
31	分納納付書でのバーコード消込に対応していること。
32	納付書の重複読込をしないようチェック機能を有していること。
33	納付書消込時の結果一覧が作成でき、「重複入金」「過入金」等があった場合に表示ができること。
収納証明書	
34	任意の調定月の収納証明書が発行できること。また、複数月分の収納を単票で印字できること。
各種帳票	
35	一括発行した納付書の一覧が作成できること。
36	収納日単位での収納者一覧が作成できること。その際に口座引落での収納分を含めて集計をするか選択ができること。
37	収納月毎に収納した調定年月の使用料及び件数の集計が作表できること。
38	収納日指定により、収納金額を月計及び年計で集計し、作表できること。
<b>3 滞納整理業務</b>	
滞納整理	
39	使用者を指定し、未納となっている調定月の料金を全て印字し、単票発行ができること。
40	督促状・催告書・停水執行通知書・停水通知書を発行できること。また、発行した使用者の一覧が作成できること。
41	催告書・停水執行通知書には、未納となっている料金全てが印字されること。
42	未納が複数あり、一度に使用者が入金ができない場合、未納金額を収納するためのスケジュールが立てられること。
43	未納の徴収予定を日時で管理できること。
44	交渉記録の管理ができること。(100文字以上入力可能であること)
45	不納欠損処理に対応できること。年次的な一括処理を網羅すること。

4 メータ管理業務	
メータ管理	
46	検定期間満期に達したメータの一覧が作成できること。
47	メータ交換用の一覧が作成できること。
48	新規購入したメータの一括登録ができること。
49	メータの使用・取り外し中等の状態管理が容易にできること。
5 統計管理業務	
各種帳票	
50	年度毎、月毎に調定額・収納額・未納額を集計し、作表できること。
51	口径別・用途別の調定件数、水量、メータ件数、基本超過調定額を集計し作表できること。
52	地区別の水量集計表が作成できること。
6 窓口・受付業務	
照会画面	
53	窓口対応・電話対応状況について、登録及び照会ができること。
54	照会画面から請求額を照会でき、納付書の発行ができること。
55	使用者の調定情報について、エクセル等ソフトで閲覧及び加工できること。
56	検索条件が複数あること。また複数条件検索及びあいまい検索ができること。
57	使用者に関する詳細情報を登録及び照会できること。
58	使用者の徴収方法の履歴が照会できること。
59	使用者の送付先(支払者)の履歴を照会できること。
60	使用者の指定月の入金詳細情報を照会できること。また、分納がある場合には収納履歴が照会できること。
61	調定月ごとの入金方法が確認できること。
62	使用者の検針時の注意事項・備考等の情報を照会できること。
7 異動業務	
異動処理	
63	異動の履歴が残ること。
64	検針値及び水量の手入力での処理が行えること。
65	調定更正処理を行えること。
66	分納及び過誤納の場合に入金情報の手入力が行えること。
67	還付処理が行えること。
68	指定月単位で使用者・所有者・請求情報を容易に変更できること。
69	自動付番機能を有していること。
8 システム運用	
マスタ保守	
70	年次・月次・日次業務に必要なマスタの登録・削除・訂正ができること。
71	マスタ保守は権限のある職員のみが操作できること。
72	複数の計算方法や料金表に対応できること。
バックアップ	
73	システム環境及び業務データのバックアップが手動または自動でできること。
74	バックアップは、指定した回数の履歴が保存できること。(保存する装置及び電磁的記録媒体等は問わない。)
セキュリティ関係	
75	ログインする場合、ID等により操作者個人が特定されること。
76	操作者ごとに業務の利用権限が設定できること。
77	サーバ及び端末にウイルス対策ソフトを導入すること。
操作ログ管理	
78	不正アクセス調査等のため、操作者のログの管理を必要とする。当該ログの保存年限(年数等)が指定できること。
79	操作者ログ等は、管理者権限により参照が可能なこと。
外字	
80	外字に対応できること。ハンディターミナルは推奨事項とする。
料金計算	
81	消費税率の改定は、標準で対応し、経費を伴わないこと。
元号	
82	元号の改定は、標準で対応し、経費を伴わないこと。
9 その他	
データの抽出等	
83	事務処理データについて、EUC機能を提供すること。最新のOffice製品を導入すること。
データコンバート	
84	現システムにおいて管理されているデータについて、データ移行すること(原則)
その他	
85	付加できる提案がある場合において説明すること。